

安心感・信頼感の提供というコンセプトに活かされています。単なる決済手段の追加によるJ-Debitの導入ではなく、業務改善が成されないことには意味がありません。構想・検討・仕様決定、システム構築と約1年の時間を費やしたシステムは、業務効率を徹底追求したものに仕上がりました。現在では37店舗に端末を配備し、稼働させています。

■広がるJ-Debitの利用

お客様の決済手段としては、現金が一番多く使われていますが、J-Debitのご利用も着実に増えています。新車販売の利用率としては、平均約30%前後で推移しており、お取引額も月間、3～4億円になり、なかにはJ-Debit利用率が70%を超える店舗もあります。

本部では、J-Debit利用金融機関一覧(図3)をまとめ、各店舗に配布し、金融機関ごとに違う利用限度額や、サービス利用時間帯なども一目で判るように周知・徹底を図っています。また販売員は、お客様との商談中に「銀行のキャッシュカードでお支払いいただけます。」など、J-Debitの利用促進のお声がけと、サービス内容を判りやすく説明しており、ご利用のお客様からは「わざわざお金を持ってこなくても、振込にいく手間もなく、カードだけ持ってくればいいという便利さがいい」と評判です。「欲を言えば、金融機関が利用限度額を引き上げ、限度額を統一できれば、もっと利用される」という、ご指摘もいただきました。

J-Debitの利用が増えたのは、お客様の多くがリピーターであることも幸いしていますが、「接客内容とサービス内容で車の購入が決定される」という言葉の通り、J-Debitの利便性を確実に伝え、ご理解いただいた結果といえるでしょう。

トヨタカローラ新大阪は、更なるJ-Debit利用促進の為に、店舗間格差を縮める為の教育や、会員統一カードの発行とポイント制導入、店内POPの充実などの検討も開始しています。システム的にはセキュリティ対策のもと、J-Debit決済情報に、お客様を特定できる情報を付加し、統合的なEDIシステムを構築し、業務改善のランクアップを目指しています。同社は、自動車販売業界におけるJ-Debitモデルケースを確立した、文字通り業界の先駆者といえるのではないのでしょうか。

【図3】

金融機関名	1日最大利用限度額(万円)	1ヶ月最大利用限度額(万円)	J-Debit利用可能サービス(※)	備考
三井住友銀行	500	200	●	
三菱UFJ銀行	100	100	●	
東京海上日動火災	200	200	●	
三井住友銀行	200	200	●	
三井住友銀行(提携銀行)	50	50	●	※提携銀行は、J-Debit利用可能サービスが利用できません。
三井住友銀行(提携銀行)	100	100	●	
三井住友銀行	100	100	●	
三井住友銀行	200	200	●	
三井住友銀行(提携銀行)	200	200	●	
三井住友銀行	500	200	●	
三井住友銀行	50	50	●	※提携銀行は、J-Debit利用可能サービスが利用できません。
三井住友銀行	100	100	●	
三井住友銀行(提携銀行)	200	200	●	
三井住友銀行	200	200	●	
三井住友銀行	50	50	●	※提携銀行は、J-Debit利用可能サービスが利用できません。
三井住友銀行	500	500	●	
三井住友銀行	200	200	●	
三井住友銀行	200	200	●	
三井住友銀行	200	200	●	
三井住友銀行	50	50	●	
三井住友銀行	200	200	●	
三井住友銀行	200	200	●	



企業概要

社名：トヨタカローラ新大阪株式会社
 所在地：大阪市淀川区東三国3-10-21
 URL：http://www.toyota.co.jp/shin-osaka/

創設：1966年8月
 従業員数：800名
 資本金：1億円
 年商：276億5000万円



医療法人 聖授会総合健診センター
 (JCB/情報処理センター契約間接加盟店)



企業概要
 医療法人 聖授会総合健診センター
 大阪市天王寺区東高津町7-11
 大阪府教育会館5階
 URL: http://www.seijukai.jp

■最先端、予防医療の現場でも導入が進むJ-Debit

医療法人 聖授会総合健診センターは昭和46年の創業以来、医療の理想というテーマを追求し、「予防に優る治療なし」という理念のもと、大阪のみならず、近県の方々の健康をサポートしています。同センターの特長は、なんといっても最先端医療機器による最新検査です。肺ガン検査のX線CT装置、脳ドッグ、下腹部検査に有効なMRI装置、乳がん検査の乳房X線撮影装置を導入しております。1日約100人前後の健診を行っており、「人間ドッグの限界に挑戦」という合言葉が日々飛び交う、活気ある健診センターです。

同センターでのJ-Debit導入は、平成14年4月です。お支払いに関する受診者からのお問い合わせがきっかけとなり、サービス向上を目的に導入しました。現在は現金、クレジットと比べると、まだまだ利用率は低いものの、受診者の方からJ-Debitでの支払いを承ることも、少しずつですが増えてきています。また、センター窓口には各種クレジットカードと並び、J-Debitのロゴが入ったスタンドを設置し、J-Debitの利用促進の告知啓蒙に一役かっています。

また、同センターは平成16年11月より大阪難波に「聖授会OCAT予防医療センター」をOPENし、「PET」を中心とした最先端医療ドッグをスタートします。PET (Positron Emission Tomography:陽電子放出型断層撮影)とは、18FDG検査薬剤(フッ素18放射性同位体:ブドウ糖の類似化合物)を体内へ注射し、その代謝を検査する方法です。ブドウ糖代謝が激しいガン細胞などの悪性腫瘍の性質を利用し、組織に集積する、18FDGの放射線量を映像化します。現在PETにより、約10mm以下のガン細胞を発見できるとされています。

JR難波駅を有するOCATビル地下2・3階に総坪数1,400坪の規模で、健診内容の充実はもちろんのこと、受診者のアメニティアップを図り、「癒しの情報公開空間」のコンセプトのもと、健診を開始する予定です。PET検査設備もPETを2台、PET-CTを1台配備し、一人でも多くの方にPET健診を利用していただけるよう施設の充実を図ります。もちろん、新しいセンターでもJ-Debitの利用は可能です。J-Debit利用促進のために、新しい企画も検討中です。「セルフメディケーション時代」の到来で、今後の聖授会総合健診センターの活躍が期待されます。